

秩父市の連結財務諸表

市では、国の推奨する企業会計の手法を取り入れた「新地方公会計制度」に基づき、一般会計と特別会計に加え、公営事業や第3セクターなどの団体を含めた連結ベース(※)の財務諸表(1.貸借対照表、2.行政コスト計算書、3.純資産変動計算書、4.資金収支計算書)を次のとおり作成しました。

なお、財務諸表について詳しくは、市HPをご覧いただくか、お問い合わせください。

問合せ電話番号 25-5219

作成基準日：平成28年3月31日

※財務諸表の作成対象範囲：一般会計、特別会計、公営企業会計(水道、病院)、(株)龍勢の町よしだ、(株)源流郷おおたき、(有)ちちぶ観光機構、(一財)秩父地域振興公社、(福)秩父市社会福祉事業団、埼玉県市町村総合事務組合

1. 貸借対照表

秩父市の資産保有状況と、その資産の財源調達状況を対照表示したものです。

○将来負担しなければならない負債に対して、これまでに積み重ねられた純資産が約2.5倍あり、財政の健全性は十分確保されています。

資産 2,011億円 (H26: 2,007億円)

市が所有している財産

【内訳】

公共資産 1,750億円 (H26: 1,763億円)

学校、道路など

投資等 161億円 (H26: 148億円)

出資金、基金、有価証券など

債権 19億円 (H26: 20億円)

未収金、貸付金など

資金 81億円 (H26: 76億円)

現金、預金など

負債 571億円 (H26: 579億円)

将来世代が負担する必要のある

借入金や地方債などの債務

純資産 1,440億円 (H26: 1,428億円)

現在までの世代がすでに負担した金額で返済義務を負わないもの

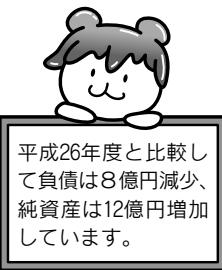
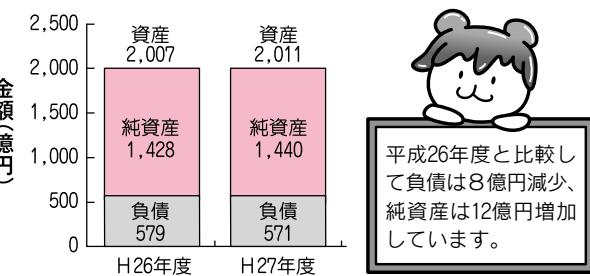
純資産比率

71.6% (H26: 71.1%)

(資産のうち、返済義務を負わない資金(純資産)の割合)

負債・純資産合計 2,011億円 (H26: 2,007億円)
(=資産)

住民1人あたり資産 309万5千円 (H26: 305万3千円)
住民1人あたり負債 87万8千円 (H26: 88万1千円)



2. 行政コスト計算書

一会计期間における資産形成に結びつかない、行政サービスに伴うコストを明らかにするものです。

経常費用 411億円 (H26: 402億円)

【内訳】

人にかかる費用 79億円 (H26: 78億円)

職員給与、議員報酬など

物にかかる費用 46億円 (H26: 48億円)

維持修繕費、減価償却費など

移転支出的な費用 225億円 (H26: 218億円)

補助金、福祉給付など

その他の費用 60億円 (H26: 58億円)

委託費、地方債の利子など

経常収益 74億円 (H26: 71億円)

使用料・手数料など

純経常費用 337億円 (H26: 331億円)

(経常費用 - 経常収益)

住民1人あたり人件費 12万2千円 (H26: 11万8千円)

住民1人あたり純経常費用 51万8千円 (H26: 50万4千円)

3. 純資産変動計算書

一会计期間において、純資産がどのように変動したかを表します。

期首純資産残高 1,428億円 (H26: 1,498億円)

(平成27年4月1日時点)

当期変動額

純経常費用 ▲337億円 (H26: ▲331億円)

財源調達 432億円 (H26: 411億円)

市税収入、国県補助金など

その他 ▲83億円 (H26: ▲149億円)

固定資産形成など

期末純資産残高 1,440億円 (H26: 1,428億円)

(平成28年3月31日時点)

4. 資金収支計算書

一会计期間における資金の流れを性質の異なる3つの活動に分けて表示したものです。

期首資金残高 76億円 (H26: 65億円)

(平成27年4月1日時点)

当期収支

経常的収支 56億円 (H26: 53億円)

行政サービスに伴う経常的な収支

資本的収支 ▲51億円 (H26: ▲44億円)

資本形成活動に伴う収支

財務的収支 0円 (H26: 1億円)

地方債などの管理に伴う収支 (1億円未満)

期末資金残高 81億円 (H26: 76億円)

(平成28年3月31日時点)

※総務省「新地方公会計制度研究会報告書」における「基準モデル」で財務諸表を作成。
※基準日時点の秩父市の人口：64,989人
※会計期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。